

Unit 6 Beyond Borders

国境をこえて

本校の育成する資質・能力

コミュニケーション力

主体性

- 1 日時 令和3年11月12日(金) 14:00~14:50
- 2 学年・学級 3年1組(男子19名 女子16名 計35名)
- 3 場所 3年1組教室(南校舎2階)
- 4 教材について

(1) 単元観

本単元は中学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第9節外国語第2の1目標(3)話すこと[やり取り]ウ「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」を受けて設定した単元である。

本単元における「社会的な話題」とは、アフガニスタンなど世界で学校教育を受けられない子どもたちの問題や、日本のランドセルをそのような国に寄付するという国際協力についての話題である。相互依存が益々強まっているグローバル社会において、他国の問題を自分事として協力し合いながら解決していく必要性は年々高まっており、学校教育という生徒にとって身近に感じられる問題から、国際協力の重要性を考えることのできる題材となっている。

言語材料として、仮定法(I wish..., If+主語+were..., ~)を扱っている。架空の状況について表現するのは初めてである。具体的には、世界の状況について実際はまだそうになっていないが、「…だったらいいのに。」「もし…すれば、~だろう。」等と表現することにより、世界の困難な状況を説明し、これからよりよい世界を作るためにできることを表現できる。

なお、本校第3学年生徒は総合的な学習の時間において「国際社会に生きる私たちにできること」という単元で探究学習をしてきた。生徒一人一人が国際社会の問題と自分との結び付きを考え、自分に何ができるのかを考えてきており、本単元ではさらにその考えを膨らませて考えることができる。

言語活動として、学校に行くことができないアフガニスタンの子ども達や、国際協力のキャンペーンの話題について読み取ったり、「100人の村の世界」について聞き取ったりして、感想や考えを伝え合う活動を設定する。聞いたり読んだりした事に基づいたやりとりを継続的に行うことにより、生徒が社会的な話題について考えたことや感じたことを述べ合う力を高めることができる単元である。

(2) 生徒観(調査結果等から見る課題)

10月に実施した2学期中間テストの結果では、「社会的な話題について、賛成か反対か立場を明確にして意見を書く」問題において「テーマにそって論理的に4文以上で適切に書いている」通過率は**37.1%**である。

次の雑誌の記事を読んで、あとの質問に答えなさい。

LEAVING CHILDREN ALONE: OK OR NOT?

In some countries, it is illegal to leave children at home alone. In *the State of Illinois, it is illegal to leave a small child in a car alone. These laws protect children from *crimes and accidents. In Japan, there is no law to ban parents from leaving small children at home or in a car alone. Do you think Japan should also make a law?

* the State of Illinois :イリノイ州

* crimes : 犯罪

- (1) テーマ“Japan should make a law to ban parents from leaving small children at home or in a car alone.”に対する自分の立場（賛成か反対）を伝える1文を書きなさい。
- (2) (1)のテーマに対する自分の立場（賛成か反対）を支持する理由を、次の文に続けて2つ考えて書きなさい。ただし、ナンバリングを使って、書くこと。また、枠内の表現を参考にし、書いてもよい。

I have two reasons.

- Every year small children die from the heat stroke in cars.
- Parents can protect their children without such a law.
- It is not a problem for parents to leave small children only for a short time.
- Making a law is effective to protect small children.

- (3) 最後のまとめとして、もう一度自分の伝えたい結論を、(1)の表現を少し変えて、1文で書きなさい。

	(1)	(2)	(3)
通過率	57.1%	40.0%	37.1%
無答率	22.8%	22.8%	22.8%

無答率が22.8%と高くなっている理由として考えられるのは、記事とテーマの英文を読解できていない、又は、賛成と反対の立場を伝える英語表現が定着していないためと考えられる。意見文によく出てくる語彙や表現の定着が必要である。

(1)の通過率に対して(2)の通過率が17.1%低くなっている理由として考えられるのは、賛成または反対の理由として正しい文を選ぶことができているためである。論理的な思考力・判断力を養う必要がある。

(3)の通過率が(1)(2)の通過率よりさらに低くなっている理由として考えられるのは、(1)の表現を少し変えてまとめを書く際用いるSo又はThereforeという表現が定着していないためと考えられる。

このことから、英語で、意見文を読解し論理的に自分の意見を述べることにあまり慣れていない姿が浮かび上がる。今後は、英語で意見を述べるための型を使って身近な話題について自分の意見を述べることから始め、特有の表現を定着させる必要がある。そして徐々に社会的な話題について読んだり聞いたりした内容について、自分の意見を述べ合う活動に慣れさせる必要がある。

総合的な学習の時間に世界の社会問題と自分との関わりについて探究学習をし、発表をしたので、関連付けながら取り組ませることにより、自らの意見を表現する意欲を高めることが可能であると考えられる。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

生徒観をふまえて、次の2点について留意し、工夫して指導を行う。

- ① 学習意欲を高めるために、生徒が総合的な学習の時間に探究してきたテーマと関連付けながら、自分の考えたことや感じたこと、自分の将来と関連付けて意見を述べ合う活動を設定する。
- ② 英語で意見を述べるための基本型を身に付けるため、考えたことや感じたことなどを論理的に伝え合う活動を継続して行う。与えられた話題について自分の考えをもつこと、伝えるために必要な語彙・表現を必要に応じて少しずつ増やし、使えるようにする。表現したかったけれど思いつかなかった表現などをその場で共有することにより、表現力を伸ばす。

以上の2点を工夫して指導を行っていくことで、社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて考えたこと、感じたこと、その理由について伝え合う力を高められるようにする。

単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 仮定法 (I wish + S + V..., If + S + were ..., S + 助動詞 + V...) の用法を理解し、現実とは異なる願望について自己表現できる。</p> <p>② 国際協力についてのスピーチを読み、正確に内容を理解することができる。</p> <p>③ 世界の現状についての説明を聞き取るすることができる。</p>	<p>① やや長いスピーチ原稿を読み、筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。</p> <p>② 国際協力について読んだり聞いたりした内容に関する質問に、キーワードを用いて説明できる。</p> <p>③ 国際協力について読んだり聞いたりした内容について、自分の感想や考えを伝えることができる。</p> <p>④ 国産野菜と輸入ものの野菜のどちらを買うべきか、根拠を明確にして意見をやりとりすることができる。</p>	<p>① 新しい表現を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>② 分からない点があれば、自ら調べるなど、粘り強く情報を収集したり、意見をまとめたりしている。</p> <p>③ 相手意識をもちながら、適切に分かりやすく伝える工夫をしようとしている。</p>

単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校が定めた 資質・能力	コミュニケーション力		主体性
評価規準	<p>知 仮定法 (I wish + S + V..., If + S + were ..., S + 助動詞 + V...) の用法を理解している。</p> <p>技 国際協力などについて、現実とは異なる願望について仮定法を用いて自己表現できる技能を身に付けている。</p> <p>技 国際協力についての文章を読み、内容を正確に理解する技能を身に付けている。</p> <p>技 世界の現状についての説明を聞き、要点を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>思 やや長いスピーチ原稿を読み、筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。</p> <p>表 国際協力について読んだり聞いたりした内容に関する質問に、キーワードを用いて説明できる。</p> <p>表 国際協力について読んだり聞いたりした内容について、自分の感想や考えを整理して伝えることができる。</p> <p>表 国産野菜と輸入ものの野菜のどちらを買うべきか、根拠を明確にして意見を述べたり、相手からの質問に答えたりして、やりとりをすることができる。</p>	<p>主 分からない点があれば、自ら調べるなど、粘り強く理解しようしたり、考えをまとめて表現しようとしている。</p> <p>主 相手意識をもちながら、適切に分かりやすく意見を伝える工夫をしようとしている。</p>

指導と評価の計画

次	学習内容	評 価	
		観 点	評価規準（評価方法）
1 本時	<p>○総合的な学習の時間とのつながり 「国際教育」の小単元「国際社会に生きる私達にできること」について振り返り，自分たちが考えてきた様々な世界の問題を思い出す。</p> <p>○ Unit 6 の題材についての目標を知る。「国を越えて助け合うために，自分は何ができるのか。」についてさらに幅広く考える単元である。</p> <p style="text-align: center;">課題設定</p> <p>○Preview の対話を聞いて，要点をとらえる。</p> <p>○仮定法(I wish + S + V...) の用法を理解する。</p> <p>○国際協力などについて，現実とは異なる願望について仮定法を用いて自己表現する。</p>	知 技	<p>仮定法(I wish + S + V...) の用法を理解している。(後日ペーパーテスト)</p> <p>国際協力などについて，現実とは異なる願望について仮定法を用いて自己表現できる技能を身に付けている(振り返りシート)</p>
2	<p>○Scene 1 の本文理解 国際協力のキャンペーンについての広告を理解する。</p> <p style="text-align: center;">情報収集</p>	技	<p>国際協力についての文章を読み，内容を正確に理解する技能を身に付けている。(後日ペーパーテスト)</p>
3	<p>○仮定法(If + S + were ..., S + 助動詞 + V...) の用法を理解する。</p> <p>○現実とは異なる願望について仮定法を用いて自己表現できる。</p>	知 技	<p>仮定法(If + S + were ..., S + 助動詞 + V...) の用法を理解している。(後日ペーパーテスト)</p> <p>現実とは異なる願望について仮定法を用いて自己表現できる技能を身に付けている(振り返りシート)</p>
4	<p>○ Scene 2 の本文理解 海を渡るランドセルについての対話を理解する。</p> <p style="text-align: center;">情報収集</p>	技	<p>国際協力についての文章を読み，内容を正確に理解する技能を身に付けている。(後日ペーパーテスト)</p>
5	<p>○Read and Think 1 の本文理解 やや長いスピーチ原稿を読み，筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。</p> <p style="text-align: center;">情報収集</p>	思 主	<p>やや長いスピーチ原稿を読み，筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。(振り返りシート)</p> <p>分からない点があれば，自ら調べるなど，粘り強く理解しようとしている。(行動観察)</p>
6	<p>○ Read and Think 2 の本文理解 やや長いスピーチ原稿を読み，筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。</p> <p style="text-align: center;">情報収集</p>	思 主	<p>やや長いスピーチ原稿を読み，筆者が最も伝えたい内容を適切に理解することができる。(振り返りシート)</p> <p>分からない点があれば，自ら調べるなど，粘り強く理解しようとしている。(行動観察)</p>

7	<p>Read and Think 2 Think and Express Yourself</p> <p>○ 国際協力について読んだり聞いたりした内容に関する質問に、キーワードを用いて説明できる。</p> <p>○ 国際協力について読んだり聞いたりした内容について、自分の感想を伝えることができる。</p> <p style="text-align: center;">思考の整理・表現</p>	<p>表 国際協力について読んだり聞いたりした内容に関する質問に、キーワードを用いて説明できる。(振り返りシート)</p> <p>主 粘り強く理解しようとしたり、考えをまとめて表現したりしようとしている。(行動観察)</p> <p>表 国際協力について読んだり聞いたりした内容について、自分の感想を伝えることができる。(振り返りシート)</p>
8	<p>Unit Activity 100人の村の世界</p> <p>○ 世界の現状についての説明を聞き、要点を聞き取る。</p> <p>○ 国際協力について読んだり聞いたりした内容について、自分の感想や考えを整理して伝えることができる。</p> <p style="text-align: center;">思考の整理・表現</p>	<p>技 世界の現状についての説明を聞き、要点を聞き取る技能を身に付けている。(ワークシート)</p> <p>表 国際協力について聞いた内容について、自分の感想や考えを整理して伝えることができる。(振り返りシート)</p> <p>主 粘り強く理解しようとしたり、考えをまとめて表現したりしようとしている。(行動観察)</p>
9	<p>Let's Talk 3 食品の選択 —賛成する・反対する—</p> <p>○ 国産野菜と輸入ものの野菜のどちらを買うべきか、根拠を明確にして意見を述べたり、相手からの質問に答えたりして、やりとりをすることができる。</p> <p style="text-align: center;">意見交流</p>	<p>表 国産野菜と輸入ものの野菜のどちらを買うべきか、根拠を明確にして意見を述べたり、相手からの質問に答えたりして、やりとりをすることができる。(振り返りシート)</p> <p>主 相手意識をもちながら、適切に分かりやすく伝える工夫をしようとしている。(行動観察)</p>

本時の学習

(1) 本時の目標

仮定法(I wish+ S + V…)の用法を理解し、国際協力などについて、現実とは異なる願望について仮定法を用いて表現する。【知識・技能】

(2) 観点別評価規準

C	B	A
<p>意味を伝えるには、構文など深刻な間違いがあり過ぎて十分伝わらない。</p> <p>I wish pens and notebooks.</p>	<p>意味を伝えるのに支障がない程度の微細な間違いはあるが、言いたい内容を十分に伝えている。</p> <p>I wish they had pens and notebooks.</p>	<p>伝えたい内容を、正確に伝えている。</p> <p>I wish they had their house. I wish they had enough food. I wish they could study at school.</p>

(3) 準備物 教科書、ワークシート、学びの足跡シート、PC、TV

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導入 【発見】 8分	① Greeting ②単元目標（題材と活動）の提示 <題材>「国を越えて助け合うために、自分は何ができるのか。」についてさらに幅広く考える単元である。 <活動>架空のことについて説明したり、感想や意見を述べたりする。 ③本時のめあて	◇総合的な学習の時間とのつながりから、単元目標を認識する。 「国際教育」の小単元「国際社会に生きる私達にできること」について振り返り、自分たちが考えてきた様々な世界の問題を思い出す。 ◇プレゼンテーションで発表した実現できていないが実現したい生徒の願望を言い合う。	
本時のめあて 「こうだったらいいのになあ。」を、仮定法を用いて表現しよう。			
展開① 【思考】 25分	④Preview の対話を聞いて、要点をとらえる。 ⑤仮定法(I wish + S + V...) の用法を理解する。 ・仮定法の使用目的・場面・状況 ・文構造	◇対話をメモを取りながら2回聞き、聞き取った内容をペアで交流する。 ◇「もし100万円持っていたらどうする？」についての対話であったこと、つまり架空のことについて話すという活動の単元目標を意識づける。	
Kaito: If you had one million yen, what would you do? Meg: One million yen? Hmm, let me think. That's a difficult question. How about you, Kaito? ...			
I don't have one million yen. I wish (that) I had one million yen.			
I wish (that) they could go to school. I wish (that) the beach were clean. ※was は主語に関係なく were になる			

<p>展開② 【深化】 12分</p>	<p>⑦自分たちが探究してきた様々な話題について、ペアでやりとりする。</p>	<p>◇画像とワークシートを用いる。</p>	<p>知 假定法(I wish + S + V…)の用法を理解している。(後日ペーパーテスト)</p>
<p>終末 【まとめ・振り返り】 5分</p>	<p>⑧振り返りシートに振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際協力について実現したいがまだ実現できていないことを1文書く。 ・假定法について分かったこと、まだよく分からないこと、もっと知りたいことを書く。 	<p>◇口頭で練習した英文を負担なく英語で書かせるようにする。</p> <p>◆その他の振り返りは、レベルに応じて日本語でも英語でもよいと伝える。</p>	<p>技 国際協力などについて、現実とは異なる願望について假定法を用いて自己表現できる技能を身に付けている(振り返りシート)</p>
<p>○生徒の振り返り例(英語で書くことができる生徒は英語で記入) 假定法は、実現できていない願望を表現できる表現方法だということがわかった。 国際協力について、様々な事例を読んで、もっと知識を増やし、英語でも意見を表現していきたい。 I wish I could express myself more in English. So I would like to learn new English expressions harder. Also, I would like to learn more about SDGs and help children in need.</p>			
<p>⑧ 宿題の確認、次時の予告を行う。</p>			